

令和4年9月12日

マルキンだより



畜産PR大使「おーいたん」

公益社団法人 大分県畜産協会 TEL:097-545-6594
FAX:097-554-4049

第138号

令和4年7月分交付金概算払単価公表

肉用牛肥育経営安定交付金制度の令和4年7月分の交付金概算払単価が公表されましたので、精算払いを行います。

また、7月分の公表された交付金単価は、交雑種29,910.8円、乳用種34,380.2円の交付となります。肉専用種の発動はありませんでした。

詳細につきましては、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について【令和4年7月分】(独立行政法人農畜産業振興機構発行)をご覧ください。

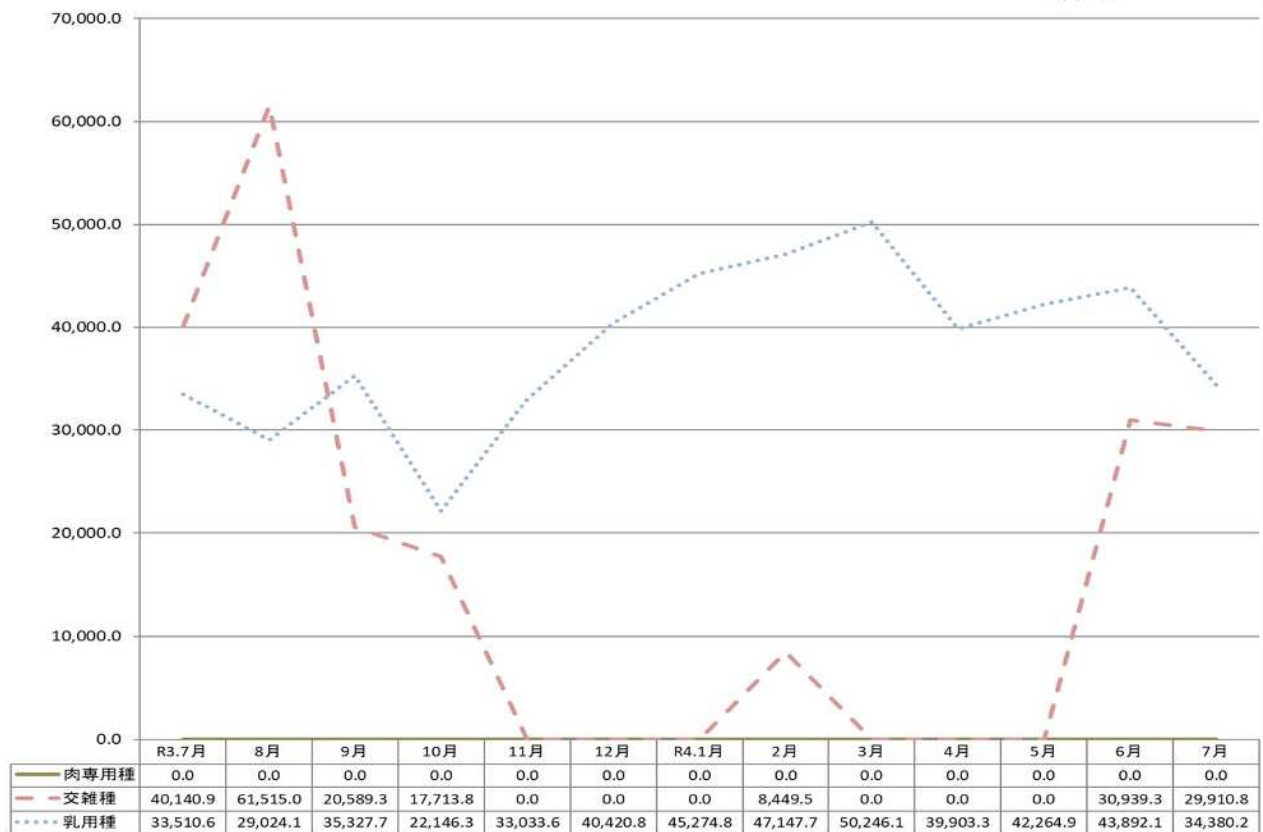
トピックス

●令和4年7月分の単価(概算払)が公表されました。

●7月分の交付金交付は、9月28日(水)を予定しております。

交付金発動状況

単位:円



牛マルキン事業に関するホームページ

★公益社団法人 大分県畜産協会 <http://oaita.lin.gr.jp/>

当協会のホームページです。マルキン情報の他、市場結果、種雄牛情報等も掲載しております。

★独立行政法人 農畜産業振興機構 https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin_00002.html

補填金単価の公表の他、単価算定に関する各種参考資料等が掲載されております。

★畜産物の市況展望【牛肉】

8月の牛枝肉価格はコロナ第7波の影響を受けて手当てを控える動きが広がり、弱基調で推移した。3年ぶりに行動制限のない盆休みで期待されていたが、帰省を見合わせる動きも散見され低調だった。8月後半も全般に在庫消化の動きが中心で、大きな回復は見込めなかった。

7月の牛肉価格は、和牛は去勢A5が前月比7円高の2,638円(前年同月比46円安)、同A4は6円安の2,391円(同22円高)、同A3は3円高の2,187円(同67円高)、同A2は72円高の2,009円(同214円高)と低調。交雑牛もB4が45円高の1,699円(同113円安)、B3は36円高の1,546円(同44円安)、同B2は3円安の1,374円(同23円安)と前年実績は下回った。乳去勢はB2が31円安の1,037円(38円安)。

消費マインドが冷え込む中、コロナ第7波が牛肉消費に追い討ちをかけた。国は行動制限を敷かない方針で飲食店は通常営業が続くが、予約キャンセルが相次いだ他、従業員に感染者が出て休業する店が散見されるなど影響は小さくなかった。都心部は盆前後から少しずつ動きが出てきたとされるが、地方のホテルレストランは苦戦し、東北地方など豪雨に見舞われた地域では「在庫を消化しきれなかった」(業務卸)ようだ。

感染を避けるために旅行やレジャー出費を控えた分、メリハリ消費で高単価商材の動きが良化した。消費者の感じる傾向は低価格化が進み、豚肉、鶏肉が主体なのが現実。海外市場では22年上期の牛肉輸出数量は前年同期比8.5%減の3,052tにとどまった。アジア新興国や欧米向けの輸出は着実に伸ばしたが、カンボジア向けが7割減と落ち込んだ。上海のロックダウンなど中国のゼロコロナ政策が影響しているものとみられる。

和牛去勢A5で2,300～2,350円、A4で2,100～2,200円、A3で1,900～1,095円で前後。交雑種は去勢B3で1,500円。

(※公益社団法人中央畜産会 発行 畜産コンサルタント誌9月号 抜粋)